

むこうやま こふんぐん  
**向山古墳群**（国指定史跡）

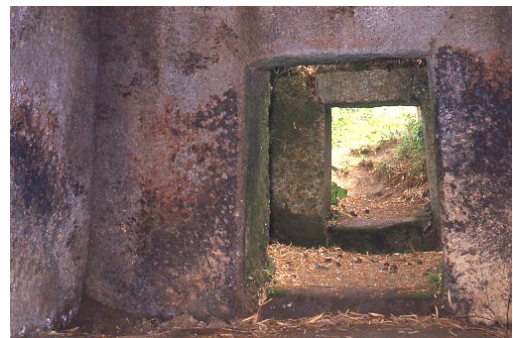
向山古墳群は米子市淀江町福岡の独立丘陵・向山に所在する8基の古墳で構成され、うち6基が比較的大きい前方後円墳です。古墳時代後期の汗入地域の歴代首長の墓と考えられています。



いわやこふんふんきゆうきんけい  
岩屋古墳墳丘近景

いわやこふん  
**岩屋古墳**（向山1号墳）

丘陵の北端に位置する全長54mの前方後円墳で、奥行9m、高さ2.6mの石棺式石室を埋葬施設としています。石室は一枚石の切石組みで前室と後室からなり、内部遺物は知られてないが墳丘部から円筒埴輪や水鳥・馬・人物などの形象埴輪が出土しており6世紀後葉の築造と推定されています。



岩屋古墳石室

むこうやま  
**向山4号墳**

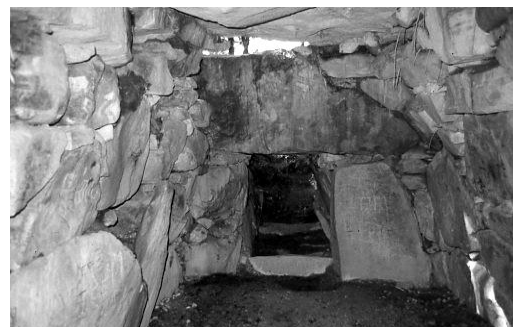
丘陵の中央に位置する全長64mの前方後円墳で、米子市周辺では2番目に大きい古墳です。埋葬施設は不明ですが須恵器や鉄鏃が拾われており、6世紀前葉の築造と推定されています。



向山4号墳墳丘近景

ちやうじゃがひらこふん  
**長者ヶ平古墳**（向山5号墳）

丘陵の南端に位置する全長48mの前方後円墳で奥行10m、高さ2.7mの横穴式石室を埋葬施設とする。石室上の小石槨から金銅製冠、環頭、馬具、三輪玉が出土しており6世紀中頃の築造と推定されています。



長者ヶ平古墳石室